

10 窒息事故の防止

○ 窒息事故の防止

- ・ 食べ物は食べやすい大きさにして、よく噛んで食べることを指導する。
- ・ 早食い競争等はさせない。
- ・ 嚥下障害のある児童生徒は特に注意する。

○ 詰まった時の対処方法

- ・ 他の教職員に119番通報を依頼し、直ちに以下の方法で詰まった物の除去を試みる。

【背部叩打法】

体の小さい児童では、立て膝の太ももがうつぶせにした子どものみぞおちを圧迫するようにし（図1）、子どもの頭を低くして、背中の中を平手で何度も連続して叩く。

なお、腹部臓器を傷つけないよう力を加減すること。



【ハイムリッヒ法（腹部突き上げ法）】

体の大きい児童生徒や大人では、後ろから両腕を回し、みぞおちの下で片方の手を握り拳にして、腹部を上の方に圧迫する（図2）。

この方法が行えない場合、横向きに寝かせて、又は、座って前かがみにして、背部叩打法を試みる。

